

# 横浜の変貌と新住市民の 自治意識

横山桂次

## 1・近隣生活

今日、大都市の住民は地域生活における連帯性をもっていない。かつて農村社会にあった共同体意識や、都市の形成期に培われた市民としての強い連帯意識も、ごく限られた「したまち」を除いて存在しがたくなっている。この失われた地域住民の連帯性を、高度化してゆく産業社会において回復する契機はなんであろうか。とくに大都市の郊外部に移住してくる新住市民にとって、これはかなりむずかしい課題であろう。

ところが、新住市民は隣近所のつき合いをどのように行なっているであろうか。表1でみると、両地区とも予想以上に近隣のつき合いをしている。予想以上というのは、一般に大都市住民は「孤立型」の傾向が強いといわれており、太平ムード・安定ムードのなかで増加する「マイホーム主義」は、いっそうそれを促進しているのではないかと考えたからである。ただ、「進んではしない」というものが、青葉台では戸塚より若干高くなっている。これを職業別でみると、農民は積極性を示しているが、商工・サービス業の自営者は消極的である。また被傭者のなかでは、技術業専門職が積極性を示している<表2>。さらに年代別でみると、20代では拒否する傾向が強く、30代以上は半々ぐらいに分かれるが、青葉台では30代がかなり消極的になっている<表3>。また政党支持と

表1——お宅では隣近所のつき合いを進んでなさいますか。

区分	中田町	青葉台
進んでする	24.4	27.9
普通	53.4	44.7
進んではしない	13.8	21.2
したくない	7.1	4.5
DK・NA	1.3	1.7
計	100.0	100.0

## 目次

- 1——はしがき
- 2——新住市民の社会的属性<以上14号>
- 3——地域生活における諸意識<以上本号>
- 4——新住市民の自治意識

表2—お宅では隣近所のつき合いを進んでなさいますか。〈職業別〉

区分	進んでする		普通		進んではしない		しない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自営〈農・漁業〉	13.2	0	3.0	1.2	2.3	0	4.5	0	0	0
自営〈商工・サービス業〉	2.6	4.0	11.4	3.8	11.6	5.2	9.1	12.5	0	0
自由業その他の自営	5.3	6.0	3.6	1.2	0	0	9.1	0	0	0
被備〈事務・セールス〉	39.5	48.0	33.7	48.8	25.6	44.7	31.8	25.0	50.0	0
被備〈労務・工員〉	13.2	2.0	12.7	2.5	16.3	2.7	13.8	0	0	33.3
被備〈技術職〉	18.4	22.0	26.5	32.5	27.9	44.7	22.7	62.5	50.0	66.7
教職	1.3	12.0	0.6	1.2	4.7	0	0	0	0	0
その他	3.9	2.0	3.0	3.8	2.3	0	4.5	0	0	0
無職	2.6	4.0	5.5	5.0	9.3	2.7	4.5	0	0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表3—お宅では隣近所のつき合いを進んでなさいますか。〈年令別〉

区分	進んでする		普通		進んではしない		しない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
20才代	9.2	8.0	21.7	7.5	32.5	7.9	36.4	12.5	75.0	0
30～40才	36.9	52.0	45.3	52.4	37.2	44.8	31.9	50.0	0	0
41～50才	25.0	24.0	12.4	25.0	9.3	31.6	9.0	25.0	25.0	33.3
51～60才	19.7	14.0	14.4	11.3	14.0	13.1	13.6	12.5	0	33.3
61才以上	9.2	2.0	4.2	3.8	7.0	2.6	9.1	0	0	33.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表4—お宅では隣近所のつき合いを進んでなさいますか。〈支持政党別〉

区分	進んでする		普通		進んではしない		したくない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	27.6	32.0	27.7	37.5	18.6	28.9	18.2	62.5	50.0	66.7
民社党	1.3	4.0	0.6	1.3	4.7	7.9	9.1	0	0	0
社会党	39.5	36.0	28.9	27.5	30.2	26.4	40.9	25.0	25.0	33.3
共産党	0	0	1.2	0	0	0	0	0	0	0
公明党	2.6	4.0	3.0	0	2.3	2.6	4.5	0	25.0	0
その他	0	0	1.2	0	2.3	0	0	0	0	0
支持なし	23.7	22.0	21.7	31.2	30.2	23.7	22.8	12.5	0	0
DK・NA	5.3	2.0	15.7	2.5	11.7	10.5	4.5	0	0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表5—お宅では隣近所のつき合いを進んでなさいますか。〈学歴別〉

区分	進んでする		普通		進んではしない		しない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
小・中学校卒	36.9	4.0	25.9	5.0	30.2	7.9	31.8	0	0	0
高等学校卒	34.2	20.0	36.8	15.0	37.2	26.3	36.4	37.5	100.0	33.3
大学卒	27.6	76.0	35.5	76.3	25.6	63.2	27.3	62.5	0	66.7
DK・NA	1.3	0.0	1.8	3.7	7.0	2.6	4.5	0	0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

の関連でみると、保守的な者は積極的であるといえるが、革新的な者は必ずしも消極的だとはいえない<表4>。学歴別では明確なちがいは認められない<表5>。

つぎに、隣近所と積極的につき合う者が、なにを話題にしているかをきいてみた。表6でみると両地区とも子供の教育と暮らしの問題に集中している。このことから新住市民のつき合いは、まず幼稚園や小中学校のPTAその他を通じて、子供の教育という共通の、しかも切実な関心を中心にして始まっているといえるであろう。ところで、相対的に所得の低い中田町の住民が、暮らしの問題よりも教育問題に強い関心を示し、青葉台ではその逆であるのは、おそらく青葉台では商店が整備されておらず、日常の買物に不便を感じているからであろうか。また中田町で、わずかではあるが公共の施設についての関心がみられることは注意してよい。

つぎに地域社会の行事にはどの程度参加しているであろうか。祭とか年末助け合いに明確に参加すると答えた者は両地区とも6割前後で、参加しない者をはるかに上回っている<表7>。しかしこれを職業別にみるとかなりのちがいがある。表8によれば、地元の農民が積極的に参加することは

わかるが、被傭者では、工員、専門職および教員が、どちらかといえば批判的、ないし否定的である。支持政党別では明確な差異はでないが、共産・公明両党の支持者に批判的または否定的な者が多い。また年代別では、20代が批判的、50代以上が肯定的傾向が強く対照をなしている<表9>。ところで参加の理由となると、とくにはっきりし

表6——進んでする方または普通につき合う方におきぎします。おつき合いの話題は主にどんなことですか。

区分	中田町	青葉台
子供の教育	31.0	27.2
公共の施設	5.4	1.5
マスコミの話題	2.5	1.5
近所のうわさ話	5.0	3.9
暮らしの問題	22.7	30.3
その他	21.9	23.2
DK・NA	11.5	12.4
計	100.0	100.0

表7——お祭りとか、年末助け合いとか、慶弔などの地元の行事に参加しますか。

区分	中田町	青葉台
参加する	63.6	59.2
いちがいにいえない	7.1	4.5
参加しない	25.1	19.0
DK・NA	4.2	17.3
計	100.0	100.0

表8——お祭りとか、年末助け合いとか、慶弔などの地元の行事に参加しますか。〈職業別〉

区分	参加する		いちがいに言えない		参加しない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自営<農業・漁業>	8.5	0.9	0	0	0	0	0	0
自営<商工・サービス業>	10.5	5.6	0	12.5	6.4	2.9	18.2	0
自由業その他の自営	4.0	2.8	4.5	0	2.6	2.9	9.1	0
被傭<事務職・セールス>	34.5	39.2	27.3	37.5	33.3	47.2	45.4	70.0
被傭<労務職・工員>	12.5	1.9	9.1	12.5	16.6	2.9	9.1	3.3
被傭<技術職・研究者>	22.0	35.6	36.4	37.5	30.9	38.3	9.1	23.4
教職	1.0	5.6	9.1	0	0	2.9	0	0
その他	2.5	3.7	9.1	0	3.8	0	0	0
無職	4.5	4.7	4.5	0	6.4	2.9	9.1	3.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表9—お祭りとか、年末助け合いとか、慶弔などの地元の行事に参加しますか。〈年令別〉

区分	参加する		いちがいにいけない		参加しない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
20才代	16.0	5.6	13.7	25.0	34.6	20.6	54.5	3.3
30才代	39.0	47.7	50.0	75.0	42.3	44.1	36.4	56.7
40才代	19.5	28.1	13.6	0	10.2	26.5	0	20.0
50才代	18.0	13.9	13.6	0	10.4	5.9	9.1	20.0
60才以上	7.5	4.7	9.1	0	2.5	2.9	0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表10—参加する人にお聞きします。その理由をおしえて下さい。

区分	中田町	青葉台
つき合いだから	61.7	50.0
親睦のため	12.6	10.4
その他	23.2	38.7
DK・NA	2.5	0.9
計	100.0	100.0

表11—参加しない人にお聞きします。その理由をおしえて下さい。

区分	中田町	青葉台
自分とは関係ない	15.4	2.9
知らなかった	35.9	26.5
近所つき合いはしたくない	1.3	2.9
その他	37.2	44.2
DK・NA	10.2	23.5
計	100.0	100.0

表14—あなたは自治会や町内会を必要だと思いますか。〈支持政党別〉

区分	必要である		不必要である		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	25.4	37.0	33.3	20.0	25.0	60.0
民社党	1.7	3.9	4.2	0	0	0
社会党	33.7	29.9	12.5	30.0	50.0	20.0
共産党	0.7	0	0	0	0	0
公明党	2.5	1.9	12.5	0	0	0
その他	1.2	0	0	0	0	0
支持なし	22.9	23.4	29.2	45.0	12.5	20.0
DK・NA	11.9	3.9	8.3	5.0	12.5	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表12—あなたは自治会や町内会を必要だと思いますか。

区分	中田町	青葉台
必要だと思う	89.8	85.5
必要だとは思わない	7.7	11.2
DK・NA	2.5	3.3
計	100.0	100.0

表13—あなたは自治会や町内会を必要だと思いますか。〈職業別〉

区分	必要である		不必要である		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自営<農・漁業>	6.1	0	0	5.0	0	0
自営<商工・サービス>	7.9	3.9	16.7	5.0	25.0	20.0
自由業その他自営	4.3	2.6	0	0	0	0
被傭<事務・セールス>	35.8	46.7	20.8	40.0	12.5	40.0
被傭<工員労務>	14.0	3.2	8.3	0	0	0
被傭<技術研究>	22.6	33.1	41.7	40.0	50.0	40.0
教職	1.4	3.9	0	5.0	0	0
その他	3.2	2.6	4.2	0	0	0
無職	4.7	3.9	8.3	5.0	12.5	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表15—思うと答えた方にお聞きします。自治会や町内会になにをしてほしいと思いますか。

区分	中田町	青葉台
町内の親睦	6.7	3.9
市政や区政の伝達	3.5	9.3
清掃などの生活環境を良くする	29.3	17.0
防犯・防災	9.2	14.4
市や区にして欲しい事をまとめる	14.5	26.2
その他	9.6	6.5
DK・NA	27.1	22.7
計	100.0	100.0

たものはない。6割から7割以上の者がつき合い親睦のために参加しているのである<表10>。一方参加しない者でも、積極的な理由をあげているのはきわめて少ない。知らなかったからと答えた3割前後の人々はそれだけ無関心ともいえるが、また勧誘されれば参加する姿勢をもっていると思われる。

## 2・住民組織

今日大都市では、共同体的規制をもつ部落会のような住民組織は消滅しているが、行政を地域末端に浸透させようとする市当局にとって、町内会ないし自治会は行政の費用および効率の点からみてはなほだ便利な存在である。一方、住民にとっては、市の施策が行政需要に追いつかない現在、生活環境・教育施設・福祉施設等住民共通の要求を

組織し、市政に反映させるための住民組織が必要となってくる。さらに前節でふれた祭や年末助け合いといった地域の行事が町内会を単位として行なわれている。こうして、住民は現実にはあいまいな性格をもつ町内会・自治会に組織されているのである。

つぎに新住市民の住民組織<町内会・自治会>に対する態度を検討してみよう。住民の大部分はそれを必要と認めている。認めないのは1割前後にすぎない<表12>。これを職業別にみると、中田町では地つきの農民と医者その他自由業者は必要を認めているが、商工・サービス業者は認めない方に傾いている。被傭者では事務・セールス職と工員は必要とする者が多いが、専門職はその逆の傾向をみせている。青葉台ではごく少数の農民を除けば、中田町とほぼ同じ傾向をみせている<表

表16——自治会や町内会になにをしてほしいとしますか。<支持政党別>

区分	町内の親睦		市・区政の伝達		清掃その他生活環境		防犯・防災その他		市や区への伝達		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	23.5	33.3	20.0	35.7	25.5	30.7	7.5	40.9	24.4	52.5	40.9	30.0	27.6	22.9
民社党	0	16.7	0	0	0	7.7	3.6	0	2.4	2.5	3.8	0	2.6	5.7
社会党	35.4	33.3	40.0	35.7	42.3	30.7	28.7	27.3	36.6	27.5	25.2	30.0	26.3	31.4
共産党	0	0	0	0	0	0	0	0	4.8	0	0	0	0	0
公明党	11.8	0	0	0	0	3.9	3.6	0	0	2.5	3.8	0	3.9	2.9
その他	0	0	0	0	3.1	0	0	0	2.4	0	0	0	0	0
支持なし	23.4	16.7	30.0	28.6	19.3	27.0	33.4	27.3	19.5	12.5	18.9	20.0	25.0	31.4
DK・NA	5.9	0	10.0	0	9.8	0	23.2	4.5	9.9	2.5	7.4	20.0	14.6	5.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表17——自治会や町内会になにをほしいとしますか。<年令別>

区分	町内の親睦		市・区政の伝達		生活環境改善		防犯・防災		市区へのまとめ		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
20才代	23.5	14.3	10.0	14.4	25.2	0	7.7	8.7	31.7	14.8	14.9	0	20.2	2.5
30才代	29.4	14.3	30.0	71.4	39.8	43.3	53.8	65.3	27.4	51.9	59.2	72.7	41.7	35.0
40才代	17.7	14.3	20.0	7.1	16.5	46.7	27.0	17.4	15.9	24.1	0	18.2	16.7	30.0
50才代	23.5	42.8	30.0	7.1	14.6	3.3	11.5	4.3	18.2	7.4	14.8	9.1	13.1	30.0
60才以上	5.9	14.3	10.0	0	3.9	6.7	0	4.3	6.8	1.8	11.1	0	8.3	2.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

13>。また政党支持との関連でみると、中田町では必要と認める者のなかでは社会党支持者が最も多く、ついで自民党、支持政党なしの順である。また不必要と答えた者のなかでは自民党支持者が最も多く、支持政党なし、社会党・公明党支持の順になっている。しかし青葉台では、必要とする者は自民党、社会党、支持政党なしの順であり、不必要とする者は支持政党なし、社会党、自民党の順になっている<表14>。しかし、このちがいが特別の意味をもってはいえない。それは表15以下をみれば明らかである。

両地域の住民とも、町内会を親睦機関とみたり、市行政の伝達機関とのみ認めている者はきわめて少く、反対に住民の要求を市政に反映させる組織とみる者はかなり多い。とくに市の中心部では町内会を「友誼的・生活機能的」組織として、また市行政の伝達機関とみている者が圧倒的に多く、下町特有の伝統的古さを保っているのと較べるとこちらの住民は市民としての権利意識が強く、市政への要求度も高い。もっとも、両地域とも最近開けた住宅地であり、それだけ中心部より市行政への要求が強いのである。とくに青葉台ではそれが強い。また表16によれば、自民党支持者と社会党支持者に差異はないが、共産党支持者は明確に住民要求を市政へ反映する組織とみていること、公明党支持者には親睦機関とみている者がかなり多いことが注目される。また年令別にみると、住民要求の反映機関とみている者は中田町では20代

が、青葉台では30代が最も高い。親睦団体とみる者は中田町では30代、青葉台では50代が、市政の伝達機関とみる者は中田町では30代と50代が、青葉台では30代がそれぞれ最も多い。環境改善・防犯等生活機能的にみている者は、中田町では30代に、青葉台では、30代および40代に集中している<表17>。

このように両地域の住民には、町内会を生活機能的に、あるいは住民要求の反映機関と認める者がかなり多いことがわかった。そこで、最後に町内会役員の選出方法をきいてみよう。表18によれば、選挙・輪番・推薦といった民主的手続きを支持する者が中田町で5割以上、青葉台では4割以上に達している。このことは、伝統的古さを保つものは別として、このような新興住宅地の町内会役員はなんらかの社会的威信を示すものではなく、かなりの負担を要求されるので、これを職業別、支持政党別にみても差異は認められないが、学歴別では若干のちがいが認められる<表19>。

表18——自治会や町内会の役員をどうして選んだらよいと思いますか。

区分	中田町	青葉台
選挙	37.5	27.4
輪番	13.7	13.4
やれる人にまかせ る	11.9	17.3
推せん	16.8	17.3
その他	3.8	9.0
DK・NA	16.3	15.6
計	100.0	100.0

表19——自治会や町内会の役員をどうして選んだらよいと思いますか。〈学歴別〉

区分	選挙		輪番		やれる人に まさせる		推せん		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
小中学校卒	35.0	3.6	30.2	4.2	29.7	0	19.2	6.4	8.3	6.3	30.0	15.8
高等学校卒	31.6	26.7	34.9	16.6	43.3	14.9	42.3	16.7	41.7	12.5	40.0	26.3
大学卒	31.6	66.1	34.9	79.2	24.3	81.8	38.5	74.2	41.7	81.2	22.0	57.9
DK・NA	1.8	3.6	0	0	2.7	3.3	0	3.2	8.3	0	8.0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

1・自治意識

住民の市政に対する関心は、かれらが市や区に対して要求をもつことから始まるといってよい。表20は住民が現在もっている要求の内容である。中田町では道路が最も高く、ついで、下水道、その他、ゴミ・し尿処理の順になっている。青葉台では道路、ゴミ・し尿処理、その他、公共機関の不便がかなりめだっている。中田町と比較して青葉台で道路整備の要求が低く、かわりにゴミ・し尿処理、とくに公共機関の不便を訴えているのは、ここが高級住宅地として私鉄により大規模に開発され、道路はかなり整備されている反面、程度の高い行政需要に市の施策が追いつかないことを示しているであろう。

ではこうした要求を解決するためには、市に対してどういう手続きによるのが効果的であろうか。表21によれば、両地域とも、個人で直接・町内会を通して・すべての機関に働きかけるを合すると7割前後となり、地元有力者に解決を依頼する者がほとんどいないことが注目される。とくに中田町では町内会を通す者が半数近くいることは、新しい住宅地域の特徴といえるであろう。これに反し、青葉台で町内会による者が少いのは、町内会がつくられたばかりでほとんど活動していないこと、地元の要求や苦情はかなりまとめて東急が市に持込んでいるからであろう。すべての機関に働きかける者が多いこともそうした理由からである。さらに目につくことは、両地域とも市議員に依存する者がきわめて少いことである。市議員については後にふれるので、ここではつぎのことだけを指摘しておきたい。市議員が新住市民にとってなじみが薄いということもあろうが、市議員の活動が新住市民をとらえていないこと、住民についてみれば、権利意識が高いにもかかわらず市

会議員を住民代表として意識していないということである。これを支持政党別にみると、町内会を通すと答えた者では、自民党支持者より社会党支持者の方が多く、中田町では個人によると答えた者では社会党支持者が最も多いことや、市議員による者でも社会党支持者が最も多いことである。地元有力者に依頼する者は両地域とも自民党・公明党の支持者だけである<表22>。

職業別では、市議員と答えた者のなかで専門職と商工・サービス自営業の比率が高いことがめだっている<表23>。

表20—お宅ではいま市や区にどんなことをしてもらいたいと思いますか。

区分	中田町	青葉台
学校の施設	1.7	3.0
道路	37.1	27.8
ゴミ・し尿の処理	13.7	20.8
公園・子供の遊び場	1.9	0.7
保育所・幼稚園	0.4	0.4
街灯	4.0	6.3
下水道	15.6	4.3
区役所・保健所ほか公共機関の不便	0.8	13.6
その他	15.0	17.2
DK・NA	9.8	5.9
計	100.0	100.0

表21—市や区にしてもらいたいことや、市や区の仕事や方針に不満があるとき、それを市に伝えたり解決してもらうために、あなたはどのような筋道によるのが実際上いちばん早いと思いますか。

区分	中田町	青葉台
個人で市や区に伝える	14.5	39.0
自治会・町内会を通す	47.6	12.9
婦人会・PTA・青年団などを通す	0	1.1
市議員を通す	3.5	0.6
国会・県議員を通す	1.0	0
地元有力者を通す	0.3	1.1
労組その他の団体を通す	0.6	0
全ての機関に働きかける	6.8	21.8
その他	17.0	20.2
DK・NA	8.7	3.3
計	100.0	100.0

表22—市や区にしてもらいたいことや、市や区の仕事や、方針に不満があるとき、それを市に伝えたり解決してもらうために、あなたはどのような筋道によるのが実際上いちばん早いと思いますか。〈支持政党別〉

区分	個人で		婦人会・PTA・青年団その他		市会議員		国会議員		地元有力者	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	24.5	35.8	0	50.0	9.1	100.0	33.3	0	100.0	50.0
民社党	2.2	2.9	0	0	0	0	0	0	0	0
社会党	33.3	31.4	0	0	36.4	0	0	0	0	0
共産党	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
公明党	4.4	1.4	0	0	0	0	0	0	0	50.0
その他	2.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支持なし	29.0	27.1	0	50.0	36.4	0	66.7	0	0	0
DK・NA	4.4	1.4	0	0	18.1	0	0	0	0	0
計	100.0	100.0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	0	100.0	100.0

  

区分	労組・その他の団体		自治会・町内会		全ての機関に働きかける		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	50.0	0	22.3	26.1	52.4	43.6	24.5	30.6	33.3	33.3
民社党	0	0	2.7	8.7	0	0	1.9	5.6	0	0
社会党	0	0	41.2	52.2	19.0	25.6	24.5	13.9	14.8	66.7
共産党	50.0	0	0.7	0	0	0	0	0	0	0
公明党	0	0	2.0	0	0	2.6	5.7	0	7.5	0
その他	0	0	1.4	0	0	0	0	0	0	0
支持なし	0	0	18.9	13.0	28.6	25.6	28.3	36.0	14.8	0
DK・NA	0	0	10.8	0	0	2.6	15.1	13.9	29.6	0
計	100.0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表23—市や区にしてもらいたいことや、市や区の仕事や、方針に不満があるとき、それを市に伝えたり解決してもらうために、あなたはどのような筋道によるのがいちばん早いと思いますか。〈職業別〉

区分	個人		自治会		婦人会		市会議員		県国会議員	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自営〈農・漁業〉	4.4	0	2.7	0	0	0	9.1	0	0	0
自営〈商工サービス〉	6.6	4.3	8.7	0	0	0	18.2	0	0	0
自由業その他の自営	0	0	4.0	0	0	0	9.1	0	33.3	0
被傭〈事務セールス〉	36.0	41.4	40.9	56.5	0	100.0	9.1	0	33.3	0
被傭〈労務・職工員〉	11.0	5.7	16.1	0	0	0	9.1	0	0	0
被傭〈技術職〉	26.6	37.2	19.5	34.8	0	0	36.3	100.0	33.3	0
教職	4.4	4.3	0.7	4.3	0	0	0	0	0	0
その他	2.2	1.4	4.0	4.3	0	0	0	0	0	0
無職	8.8	5.7	3.4	0	0	0	9.1	0	0	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	0	100.0	100.0	100.0	99.9	0

  

区分	地元有力者		労組		全ての機関		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自営〈農・漁業〉	0	0	0	0	23.8	0	0	2.8	19.2	0
自営〈商工サービス〉	0	0	0	0	4.8	10.3	9.4	2.8	15.4	0
自由業その他の自営	0	0	0	0	4.8	5.1	5.7	5.6	0	0
被傭〈事務セールス〉	100.0	50.0	0	0	28.5	35.8	28.3	52.7	19.2	66.7
被傭〈労務・職工員〉	0	0	0	0	9.5	0	11.3	2.8	11.5	0
被傭〈技術職〉	0	0	50.0	0	23.8	43.6	32.1	19.3	30.8	33.3
教職	0	50.0	0	0	0	0	0	5.6	3.9	0
その他	0	0	50.0	0	0	2.6	3.8	2.8	0	0
無職	0	0	0	0	4.8	2.6	9.4	5.6	0	0
計	100.0	100.0	100.0	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



住民の要求解決の積極的方法のひとつに署名・陳情があり、上にのべた方法と併用して行なわれることが多い。そこでつぎにその経験の有無をきいてみた<表24>。中田町では約半数が、青葉台では3分の1が経験している。その経験者について職業・年齢・学歴別の相関関係はみられなかったが、支持政党別では、若干の差異がみられる<表25>。つまり署名・陳情経験者では、両地域とも社会党支持者の割合が高く、未経験者は中田町では社会党支持の方が多いが、青葉台では自民党支持者に多い。また署名や陳情の中心になったのは中田町では主として町内会役員、青葉台では住民組織の役員とその他<東急関係者>であった<表26>。さらに署名や陳情の効果について、期待はずれと答えた者が約4分の1に達していることをつけ加えておく<表27>。

つぎに住民に市会議員をどうみているのかを検討してみよう。まずはじめに、市会議員と住民との接触のていどを表28によってみる。両地域ともその氏名を知らない者が圧倒的に多い。この住民は転入してから5年以内の者が大部分であり、3年以内の者は中田町で7割、青葉台では9割以上に達していること、また大都市住民とくにホワイトカラーは地域政治に無関心の傾向を強めているといわれることから、住民が市会議員の氏名を知る機会も努力もないかもしれない。しかしそうであれば、いっそう議員の側から住民に接触してゆくべきであろう。大都市においてはとくに地域の矛盾が激化している今日、議員の地域活動の弱さを示す資料ではなからうか。

ところで、今日の地域政治は財界・自民党政府の一体となっておし進める政策が地域末端にまで浸透している時代である。しかも「1.5割自治」のなかで地方議会の機能はいよいよ低下してきている。地方議会に党派性をもちこんではならないという神話の生きる余地は、まったくないといって

表24—あなたはこれまで市や区にやってもらいたいと思ったことで、署名や陳情をしたことがありますか。

区分	中田町	青葉台
ある	47.9	30.2
ない	48.5	68.2
DK・NA	3.6	1.6
計	100.0	100.0

表25—あなたはこれまで市や区にやってもらいたいと思ったことで、署名や陳情をしたことがありますか。〈支持政党別〉

区分	ある		ない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	25.3	27.8	26.6	39.0	28.6	50.0
民社党	2.0	7.4	1.9	1.6	0	0
社会党	34.0	33.3	30.7	28.5	42.8	0
共産党	1.3	0	0	0	0	0
公明党	4.0	1.9	2.6	1.6	0	0
その他	2.0	0	0	0	0	0
支持なし	20.0	29.6	26.6	24.4	14.3	0
DK・NA	11.4	0	11.6	4.9	14.3	50.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表26—署名や陳情をするとき中心になったのはどんな方ですか。

区分	中田町	青葉台
自治会、町内会の役員	76.7	14.8
婦人会、PTAの役員	2.7	11.1
市会議員	0	0
国会や町会議員	0	0
地元有力者	6.0	5.7
労組その他団体の役員	4.0	1.9
その他	5.3	46.3
DK・NA	5.3	20.4
計	100.0	100.0

表27—あると答えた方にお聞きします。署名や陳情をして良かったと思いますか。

区分	中田町	青葉台
良かった	58.3	38.9
期待はずれだ	22.8	26.0
わからない	18.3	35.1
NA	0.6	0
計	100.0	100.0

よい。選挙ごとに進行する地方議会の政党化はこのことをものがたっている。それでは住民はこの問題をどう受けとめているのであろうか。表29をみると、両地域とも半数の住民は政党公認を支持しており、積極的に無所属を支持しているのは2割前後に過ぎない。これを支持政党別にみると、政党公認を主張する者は、中田町では社会党支持が最も高く、青葉台では自民党支持が最も高い。しかも両地域で支持政党なしと答えたかなりの者が、政党公認を主張しているのである。一方無所属でよいと答えた者では青葉台の社会党支持に多いことがめだっている。支持政党なしがこの項でさらに増加しているのは当然であろう。いちがいにはいえないとした者は、いずれも自民党支持者に多くなっている<表30>。このように住民の側でも政党単位の地域政治を支持する傾向が強まっているのである。

## 2・政党支持状況

最後に政党の支持状況にふれておきたい。両地域の単純な比較は表31のごとく、中田町では社会党が、青葉台では自民党がトップで、いずれも他の3党をいちじるしく引離している。一方それぞれ約4分の1が支持政党なしの不動層ないし無關心層である。つぎにそれを職業別にみると、農民の

表28—あなたはこの区から選出されている市会議員の名前を知っていますか。

区分	中田町	青葉台
知っている	19.9	9.5
知らない	76.9	90.5
DK・NA	3.2	0
計	100.0	100.0

表29—市会議員の選挙で政党に公認された候補者がふえることと無所属の候補者がふえることとではどちらがよい傾向だと思いますか。

区分	中田町	青葉台
政党公認	45.8	46.3
無所属	17.1	22.4
いちがいにはいえない	15.8	16.8
DK・NA	21.3	14.5
計	100.0	100.0

表31—あなたはいまどの政党を支持していますか。

区分	中田町	青葉台
自民党	26.1	36.3
民社党	1.9	3.3
社会党	32.8	29.7
共産党	0.6	0
公明党	3.2	1.7
その他	0.9	0
支持政党なし	23.2	25.7
DK・NA	11.3	3.3
計	100.0	100.0

表30—市会議員の選挙で政党に公認された候補者がふえることと無所属の候補者がふえることとではどちらがよい傾向だと思いますか。<支持政党別>

区分	政党公認		無所属		いちがいにはいえない		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	28.7	39.9	20.8	30.0	30.6	40.0	21.2	26.9
民社党	2.1	4.7	5.7	0	0	3.3	0	3.8
社会党	41.2	28.9	22.5	40.0	28.6	26.7	24.3	19.2
共産党	1.4	0	0	0	0	0	0	0
公明党	3.5	1.2	1.9	0	4.1	0	3.0	7.7
その他	1.4	0	1.9	0	0	0	0	0
支持なし	16.1	22.9	37.7	27.5	26.5	23.3	24.2	34.7
DK・NA	5.6	2.4	9.5	2.5	10.2	6.7	27.3	7.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表32—あなたは今日の政党を支持していますか。〈職業別〉

区分	自営〈農・漁業〉		自営〈商工・サービス〉		自由業 其他自営		被備〈事務・セールス〉		被備〈労務〉	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	82.3	0	32.2	50.0	33.3	25.0	29.3	42.7	9.8	20.0
民社党	0	0	0	12.5	0	0	2.8	2.4	0	0
社会党	0	0	14.3	12.5	33.3	25.0	29.3	33.2	48.8	0
共産党	0	0	0	0	0	0	0.9	0	0	0
公明党	0	0	0	0	0	0	2.8	2.4	2.4	20.0
その他	5.9	0	3.5	0	0	0	0	0	2.4	0
支持なし	11.8	100.0	17.8	25.0	33.3	25.0	24.5	23.2	26.8	60.0
DK・NA	0	0	32.2	0	0	25.0	10.4	6.1	9.8	0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

区分	被備〈技術〉		教職		その他		無職	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	16.9	27.9	25.0	19.3	20.0	75.0	18.7	28.6
民社党	2.6	4.9	0	0	10.0	0	0	0
社会党	42.8	44.3	50.0	57.1	20.0	0	31.4	14.3
共産党	0	0	0	0	10.0	0	0	0
公明党	5.2	0	0	0	0	0	12.5	0
その他	1.3	0	0	0	0	0	0	0
支持なし	23.4	22.9	25.0	28.6	30.0	25.0	18.7	42.8
DK・NA	7.8	0	0	0	10.0	0	18.7	14.3
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表33—あなたは今日の政党を支持していますか。〈年令別〉

区分	20才代		30才代		40才代		50才代		60才代	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	27.9	50.0	22.4	29.2	24.0	36.1	29.2	43.5	47.4	66.6
民社党	2.9	0	0.8	2.3	4.0	4.3	2.1	8.7	0	0
社会党	30.9	35.7	33.5	32.6	36.0	34.0	39.6	13.0	10.5	0
共産党	1.5	0	0.8	0	0	0	0	0	0	0
公明党	2.9	0	1.0	1.1	4.0	4.3	0	0	5.3	0
その他	0	0	0.8	0	0	0	4.2	0	0	0
支持なし	22.1	14.3	27.2	29.2	26.0	21.3	18.7	30.4	10.5	16.7
DK・NA	11.8	0	13.5	5.6	6.0	0	6.2	4.4	26.3	16.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

表34—あなたは今日の政党を支持していますか。〈職務上の地位別〉

区分	管理職		その他		DK・NA	
	中田町	青葉台	中田町	青葉台	中田町	青葉台
自民党	33.3	36.1	24.1	36.0	18.1	28.5
民社党	2.8	5.6	1.8	2.0	0	0
社会党	20.8	26.4	36.4	34.0	27.3	0
共産党	0	0	0.4	0	9.1	0
公明党	2.8	1.4	3.1	1.0	9.1	14.5
その他	2.8	0	0.4	0	0	0
支持なし	23.6	27.7	22.8	24.3	27.3	28.5
DK・NA	13.9	2.8	11.0	3.0	9.1	28.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

大部分は自民党支持か支持政党なしである。商工・サービス業者は、中田町では自民党は社会党の倍以上支持されているが、両方の合計よりも支持政党なし、DKの方が多い。青葉台では2分の1が自民党、8分の1がそれぞれ民社・社会両党支持で、残りの4分の1は支持政党なしである。自由業では自民・社会両党支持は同じである。一方被傭者をみると、事務・セールス職は中田町では自民・社会両党支持が相なかばしているが、青葉台では自民党支持が圧倒的に多い。工員は中田町では約半数が社会党を支持して自民党支持を圧倒しているが、青葉台には社会党支持者がなく、6割が支持政党なしである。専門職および教職では4割以上は社会党支持であるが、自民党支持者も少なくない<表32>。

つぎに年齢別にみると<表33>、中田町では20代から50代までは社会党支持がほぼ3分の1を占めて最も多いが、60代では約半数が自民党支持になっている。また20代では、自民党支持が社会党支持にかなり接近している。一方青葉台が社会党支持の多いのは30代だけで、それも自民党支持との間にほとんど差がない。また年代が高くなるにつれて、両者のひらきは大きくなっている。ここでとくに注目されるのは若年層の保守化である。20代の自民党支持は、60代についてかなりめだっている。前回の総選挙頃から指摘されてきた傾向がここにも現われているのである。しかし同時に、20代は社会党支持でも最も高い比率を示している。また支持政党なしでは両地域とも30代でかなり高く、とくに青葉台では50代とともに約3分の1に及んでいることが注目される。

つぎに政党支持を職務上の地位についてみると表34ようになる。管理職では自民党支持が社会党支持をかなり上回っていること、支持政党なしが4分の1前後に達していることがわかる。またその他の項では、中田町で社会党が高く、青葉台で

は両党支持がほとんど同じである。

以上のデータからわかるように、このふたつの地域では多党化は進んでいない。くり返えていえば、調査対象者の大部分は土地を購入して家を建てられるていどの収入をえている、いわば直接または間接に高度成長の陽のあたる場所にいる人々である。ここの住民には、既成の2大政党から離れて他の政党を支持する積極的な理由はないようである。

以上調査の数字によって新住市民の自治意識を概観したが、ここで気のついたことを簡単にしておくきたい。新住市民にはかなり高い権利意識が認められ、地域の古いしきたりを否定する合理性をもっている。しかしそれを市民生活の場で、市民共通の連帯意識にまで高められないでいる。むしろその権利意識や合理性が、住民要求のレベルでは物盗り主義・集団エゴイズムに、市民生活のレベルではマイホーム主義・非政治化に随う危険性をはらんでいる。一方、地域政治の政党化を志向する側面をもっている。今後横浜市ではこうした新住市民がますます増加するが、市政の民主化にとって、かれらをどのようにして地域政治のレベルに引きだすが、ひとつの課題になっている。

<中央大学教授>